

令和 8 年熊本地震における対応状況（7 月 31 日版）

2026 年 7 月 31 日
(一社)日本建設業連合会

1. 関係機関との連絡体制

- 7 月 28 日（火）の発災と同時に日建連本部において緊急災害対策本部、九州支部において支部対策本部を立ち上げ。
- 災害協定に基づき、国土交通省九州地方整備局、NEXCO 西日本等と連絡を密にし、対応を準備中。

2. 各機関からの要請への対応（技術者派遣、資機材支援等）

● 技術者派遣

- 7 月 29 日（水）
九州支部にて NEXCO 西日本からの要請を受け橋梁現地確認に技術者派遣（6 社より 8 名）（確認場所 川田橋、高野川橋、妙見第一橋）。

● 資機材支援（仮設簡易トイレ・飲料水等）

- 7 月 29 日（水）
九州支部にて九州地方整備局からの要請を受け、氷川町とイオンモール熊本への仮設簡易トイレを手配、設置完了。
（氷川町役場、氷川中学校、竜北東小学校、氷川町公民館、竜北西部小学校
各 5 基、イオンモール熊本 10 基）



（仮設簡易トイレの搬送）



（氷川町役場への仮設簡易トイレの設置）



（イオンモール熊本への仮設簡易トイレの設置）



（竜北西部小学校への仮設簡易トイレの設置）

➤ 7月31日（金）

九州支部にて九州地方整備局からの要請を受け、宇土市役所へ 500 ミリリットルから 2 リットルの飲料水計 8,496 本、9,491 リットルを提供。

九州支部にて九州地方整備局からの要請を受け、八代市内の避難所 18 か所に仮設簡易トイレ計 80 基、散水車 2 台を手配、設置作業中。



（飲料水の搬送準備）

※日建連の本・支部は今後も引き続き関係機関と連携し、災害対応を行ってまいります。

以上